

令和 7 年度 歯学部卒業生就職先へのアンケート調査結果について

1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、令和 5 年度卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師・看護師等として従事している医療機関等を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 令和 6 年度卒業生が臨床研修歯科医として従事している医療機関等（調査対象数：12）

調査期間 令和 7 年 9 月

実施方法 インターネット（Google Form）を利用した Web アンケート

質問内容 ①学部ごとの学位授与方針（DP）に対する本学卒業生の実態について
②本学の教育に求める内容について

3. 結果

回収率 83.3% (10/12)

協力機関 北海道大学病院、東北大学病院、東京歯科大学、昭和医科大学歯科病院、横浜市大附属病院、大阪大学、東京歯科大学市川総合病院、昭和医科大学歯科病院（匿名希望機関以外）

詳細は別紙の通り。

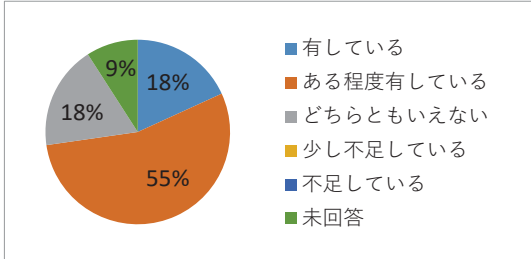
4. 総括

- ・ディプロマ・ポリシーの達成度に対して肯定的な評価が多い一方で、「国際性」と「研究マインド」に対する評価は比較的低い。
- ・本学の教育に求めるものとして、「コミュニケーション能力」「協調性」「主体性」などへの要望が多い。また、医療現場で求められる「コミュニケーション能力」に関するコメントが多く寄せられており、その重要性が伺える。

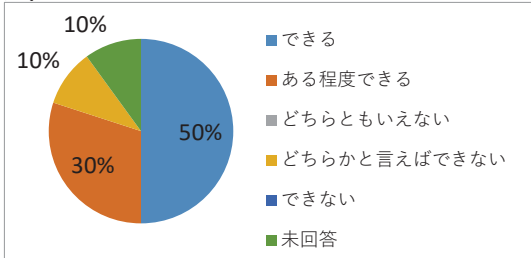
歯学部

Q 1. 岩手医科大学歯学部では、以下の9つの資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関で研修した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

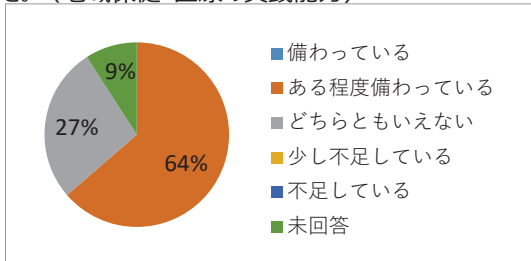
歯科医師として患者や地域住民の健康と生命を守るという責務を理解し、高度な専門性と豊かな人間性と倫理観を有すること。(プロフェSSIONアリズム)



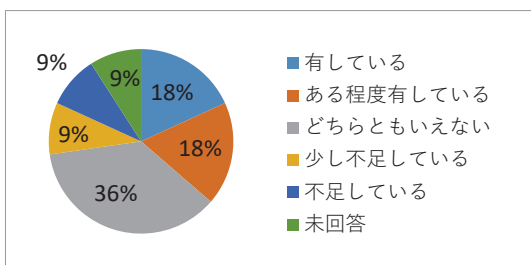
医療チームの一員として、相手の立場を尊重しお互いの協力のもとに医療を円滑に実践すること。(チーム医療の実践能力)



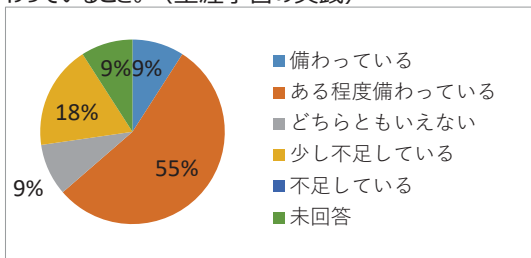
地域の保健、医療、福祉、介護の現状や問題点を把握して、地域医療の向上に取り組む態度・技能が備わっていること。(地域保健・医療の実践能力)



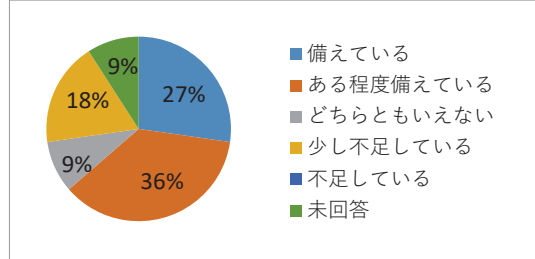
国際的な保健・医療活動に貢献するための態度と基本的な語学能力を有すること。(国際貢献への資質)



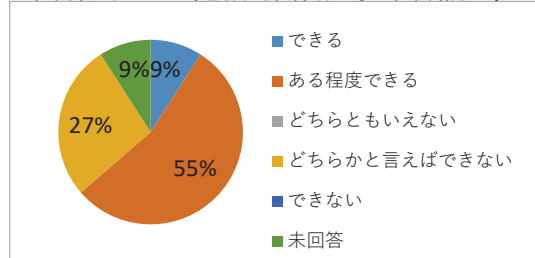
生涯にわたり歯科医療に対する自己研鑽を続ける態度が備わっていること。(生涯学習の実践)



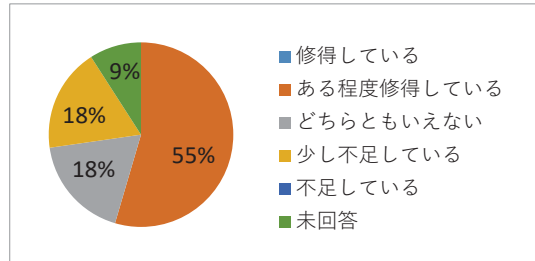
患者・家族に歯科医療の内容をわかりやすく伝え、彼らの気持ちに配慮しながら良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を備えること。(コミュニケーション能力)



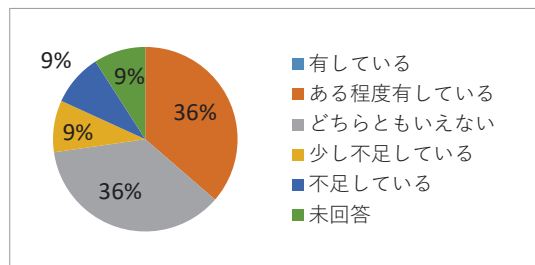
科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践すること。(包括的歯科医療の実践能力)



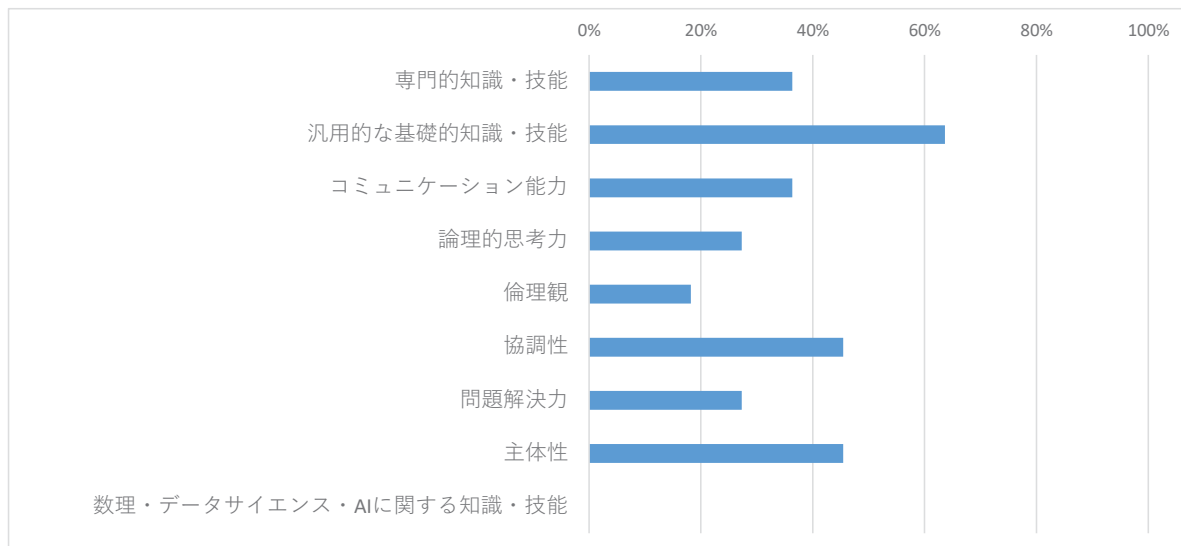
歯科医師として求められる基本的診療技術を高い水準で修得していること。(高水準の診療能力)



歯科医学や医療の発展に寄与する研究を遂行するために必要な知識と技能を有すること。(研究マインドの保持)



Q2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。



その他： 特になし

Q3. コミュニケーション能力を選択された場合、特にどのような場面で期待するか教えてください。(複数選択可)

